

2019年3月期

第2四半期決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

LECIP
GROUP

2018年12月

▶ **1. 2019年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況**:P3~P14

■ **2. 2019年3月期 通期業績の見通し・配当の状況**:P15~P18

■ **3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況**:P19~P27

■ **【ご参考資料】**:P28~P36

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移

全般概況

前年同期比

売上高:

増収



損益面:

改善



セグメント別業績の概況

➤ プラス要因

輸送機器事業

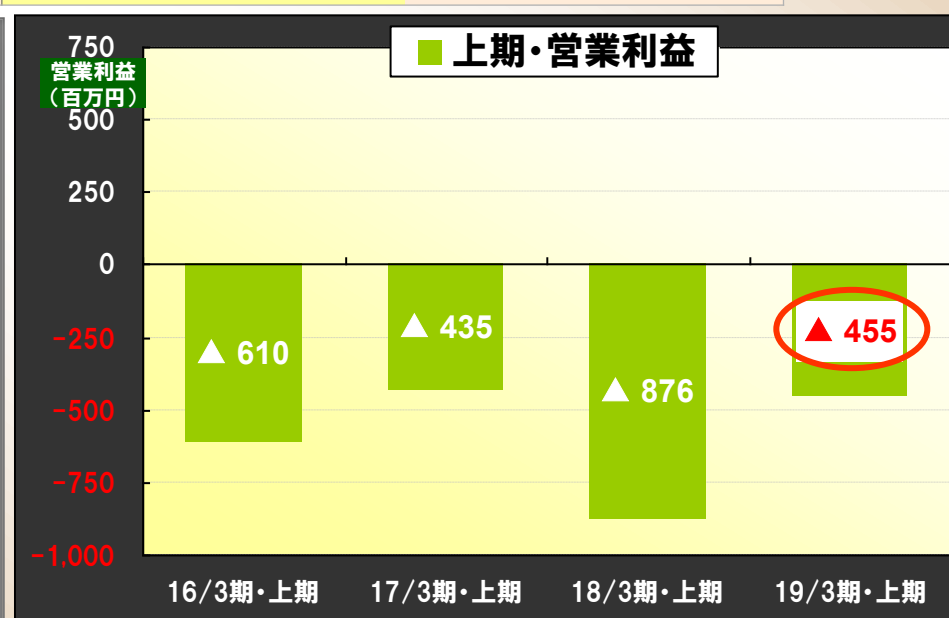
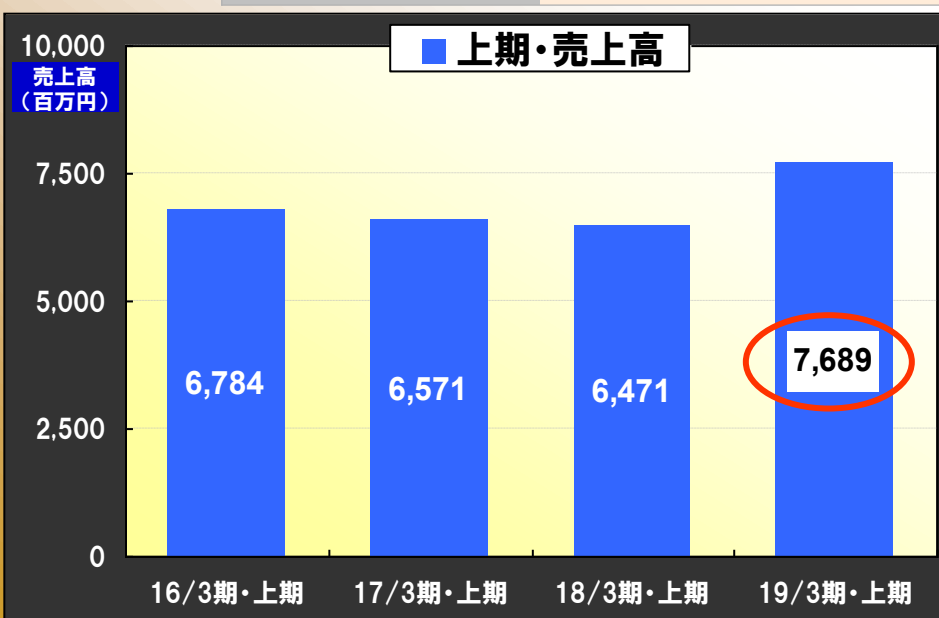
- 当期から、首都圏でバス用ICカードシステムの更新が本格的に始まり、ICカードリーダライタなどの売上が大きく拡大。

産業機器事業

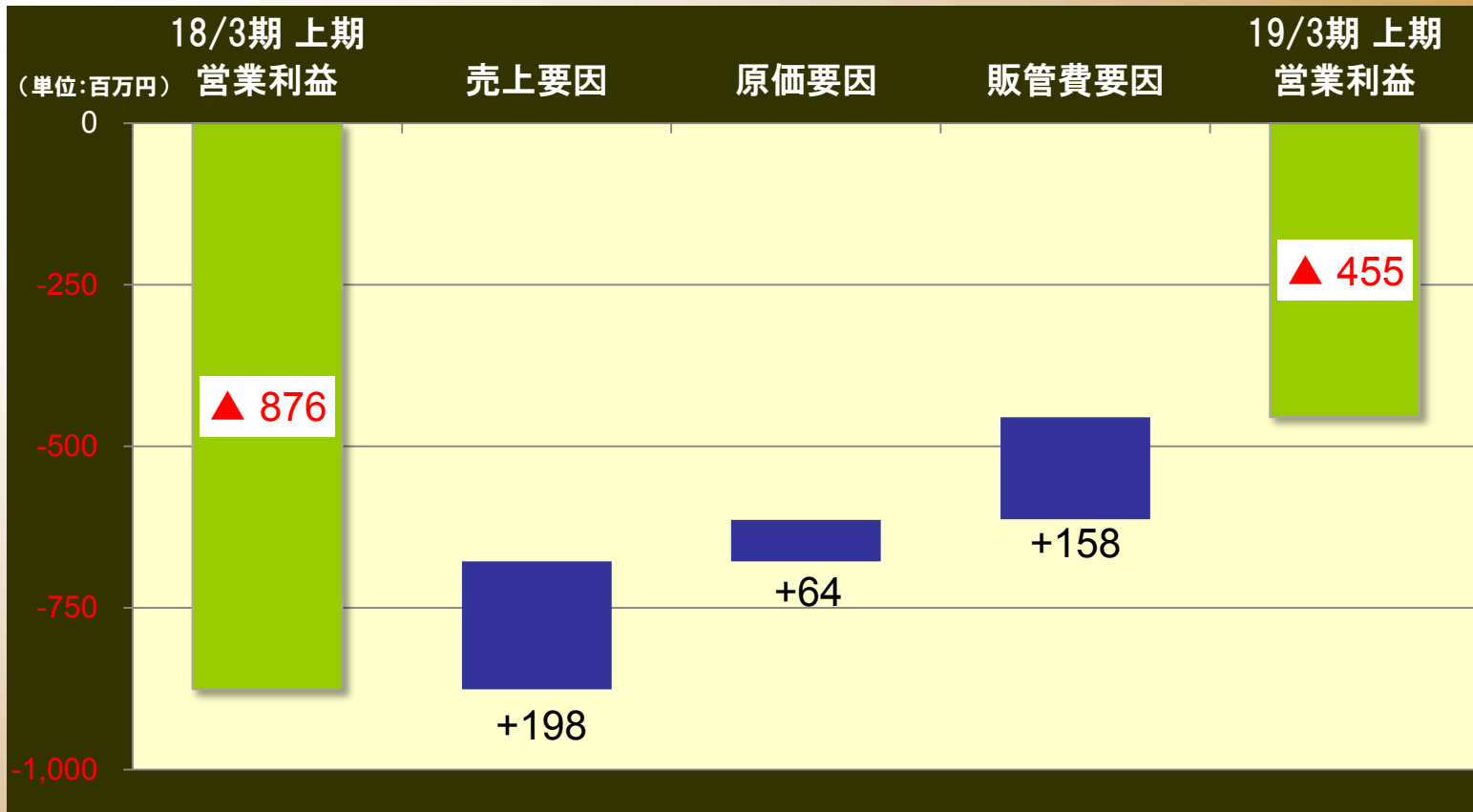
- 自動車の電子化が加速するなか、自動車向けプリント基板実装の受託が拡大。

2019年3月期 上期 連結業績の要約

【連結】 上期業績 (単位:百万円)	2018年3月期 上期		2019年3月期 上期			
	① 前期実績	構成比	② 当期実績	構成比	前年同期比 増減額 ②-①	前年同期比 増減率
売上高	6,471	100.0%	7,689	100.0%	+1,217	+18.8%
売上総利益	1,053	16.3%	1,316	17.1%	+263	+25.0%
営業利益	▲876	▲13.5%	▲455	▲5.9%	+421	—
経常利益	▲870	▲13.5%	▲422	▲5.5%	+447	—
上期純利益	▲679	▲10.5%	▲419	▲5.5%	+260	—



営業利益の増減要因



- **売上要因** : 主力の輸送機器事業の売上が大きく拡大。
- **原価要因** : 受注損失引当金の計上があったものの、商品構成の変化や原価低減等でカバー。
- **販管費要因** : 前年にあった首都圏ICカードシステム更新に係る開発費用、通信基地局向け無停電電源装置の改修に伴う費用等の減少。

2019年3月期 上期 セグメント別業績



売上高 (単位:百万円)	2018年3月期 上期		2019年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	4,169	64.4%	5,151	67.0%	+982	+23.6%
産業機器事業	2,280	35.2%	2,515	32.7%	+235	+10.3%
その他事業	21	0.3%	22	0.3%	+0	+0.5%
連結売上高	6,471	100.0%	7,689	100.0%	+1,217	+18.8%

営業利益 (単位:百万円)	2018年3月期 上期		2019年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	▲802	94.4%	▲441	102.8%	+360	—
産業機器事業	▲50	6.0%	8	▲1.9%	+58	—
その他事業	2	▲0.3%	3	▲0.9%	+0	+29.1%
計	▲849	100.0%	▲429	100.0%	+420	—
消去・全社	▲26	—	▲25	—	+0	—
連結営業利益	▲876	—	▲455	—	+421	—

▶ 輸送機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ + 9億82百万円 +23.6%
■ 営業利益: 前期比 ▲ + 3億60百万円 — %

バス市場

前期比: +10億31百万円(+34.9%)

▶ 首都圏で、ICカードシステムの更新が本格的に始まり、大幅な拡大続く。



鉄道市場

前期比: ▲25百万円(▲3.5%)

▶ 北米向け鉄道車両用灯具の納入進むも、国内において、鉄道用液晶表示器等の大口需要の反動により、減収。



自動車市場

前期比: ▲24百万円(▲4.9%)

▶ トラック用LED灯具の販売は堅調に推移したものの、蛍光灯の販売が減少。



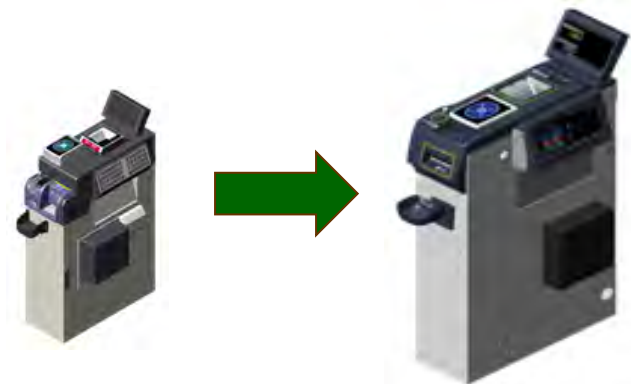
首都圏バス用ICカードシステムの更新

- 2007年3月よりサービスインした首都圏バス用ICカードシステムの更新がスタート。
- 当社は、ICカードユニット(※)の交換と併せ、このタイミングで運賃箱を代替される事業者様への納入を進める。(※ ICカードユニット:ICリーダライタ及び制御ユニットのセット)
- 対象台数:PASMO加盟のバス事業者様 約16,000台。
⇒ そのうち、当社は、約12,000台のICカードユニットの交換を担当。

ICカードユニットの交換
(運賃箱の改造)



運賃箱の代替



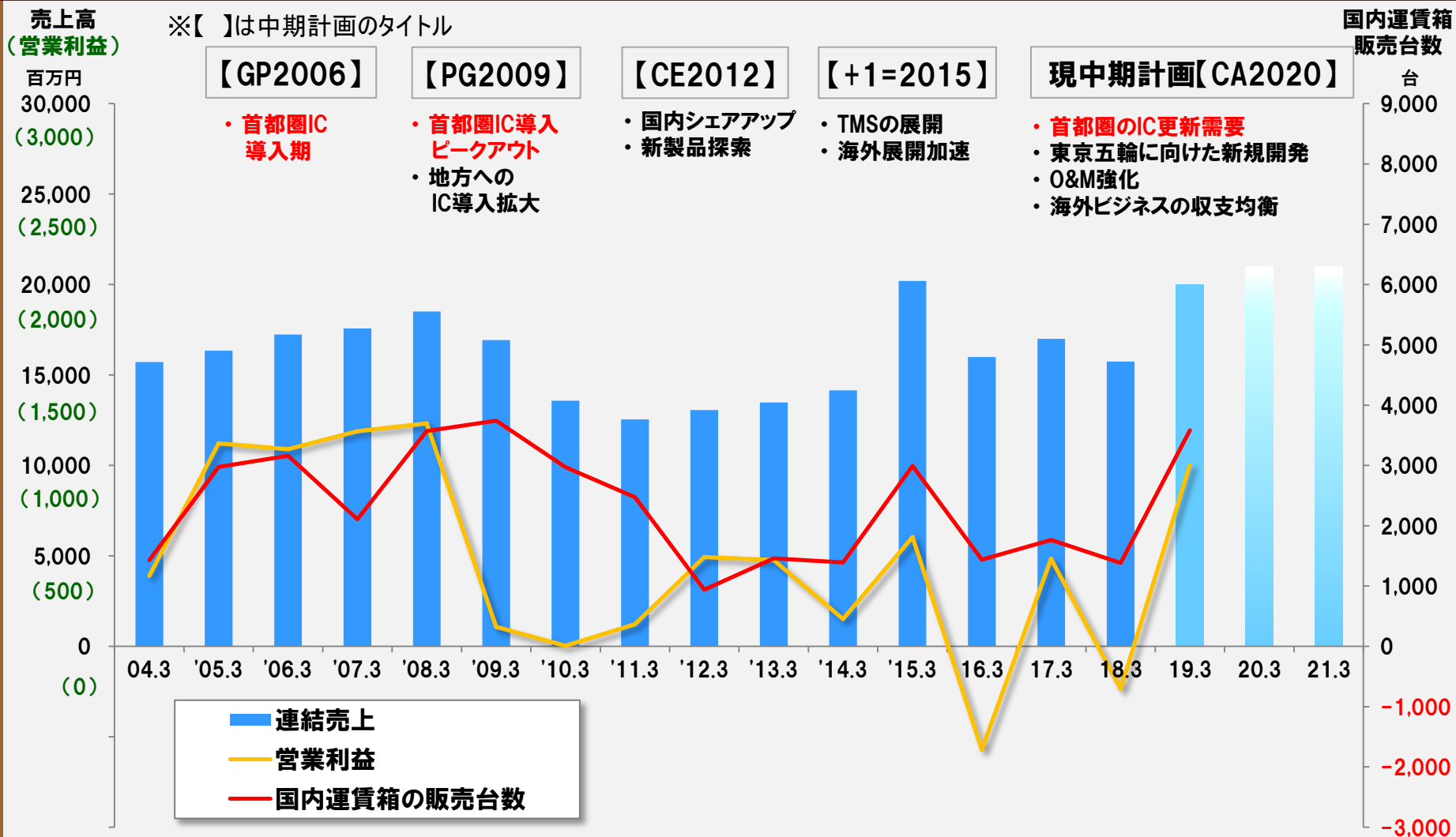
国内バス用運賃箱、ICカードユニット

バス用運賃箱、ICカードユニットの売上推移

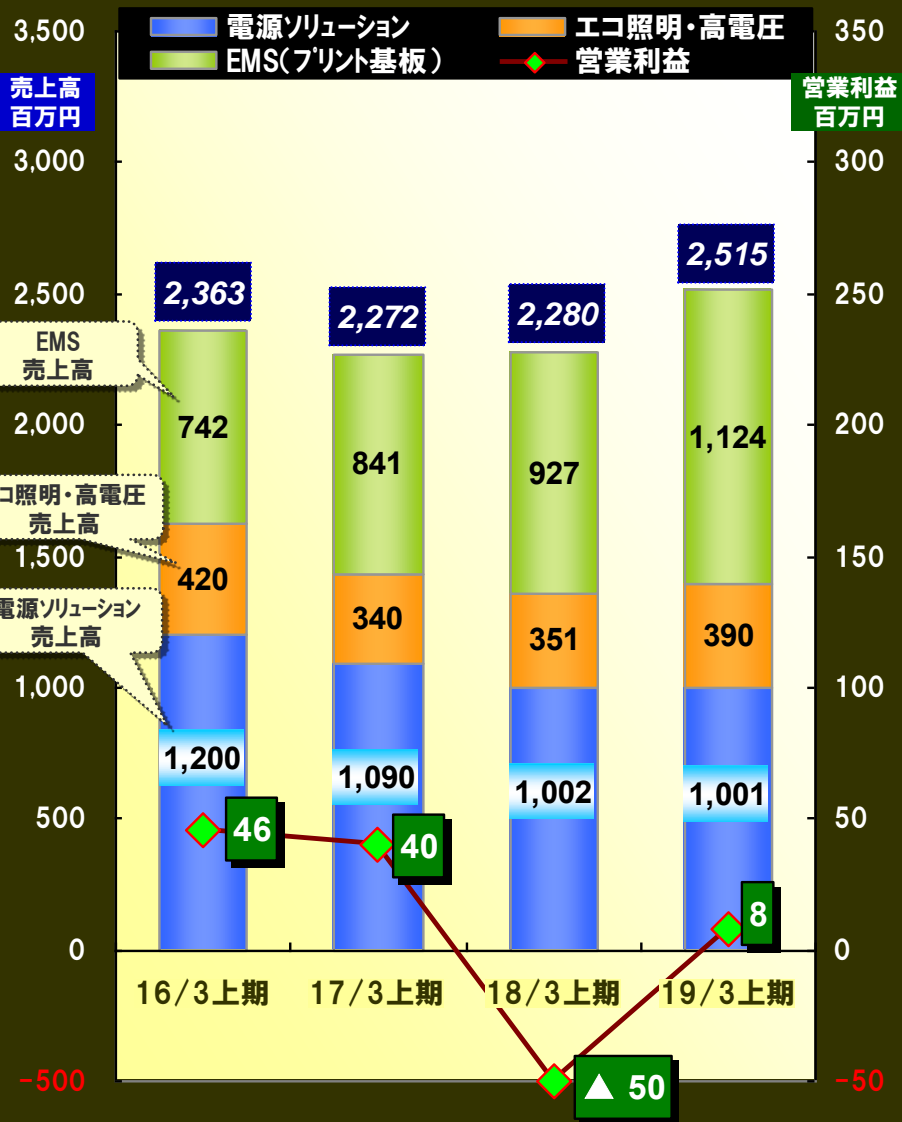


- 当期から、首都圏ICカードシステムの更新が本格的に始まり、大幅な増加続く。
- 下期以降、更なる拡大を見込む。

▶ (ご参考): バス用運賃箱の販売台数と業績推移



▶ 産業機器事業：上期：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ + 2億35百万円 +10.3%
■ 営業利益 : 前期比 ▲ + 58百万円 — %

電源ソリューション市場

前期比: ▲1百万円(▲0.1%)

▶ フォークリフト用充電器の販売は好調に推移したものの、自家発電機自動運転装置等の販売が減少。



エコ照明・高電圧ソリューション市場

前期比: +39百万円(+11.3%)

▶ ガソリンスタンドやコンビニ等の店舗看板の掛け替えが進むなか、LED電源の販売が好調に推移。



EMS市場

前期比: +1億97百万円(+21.3%)

▶ 自動車の電子化が加速するなか、自動車向けプリント基板実装の受託が大きく拡大。

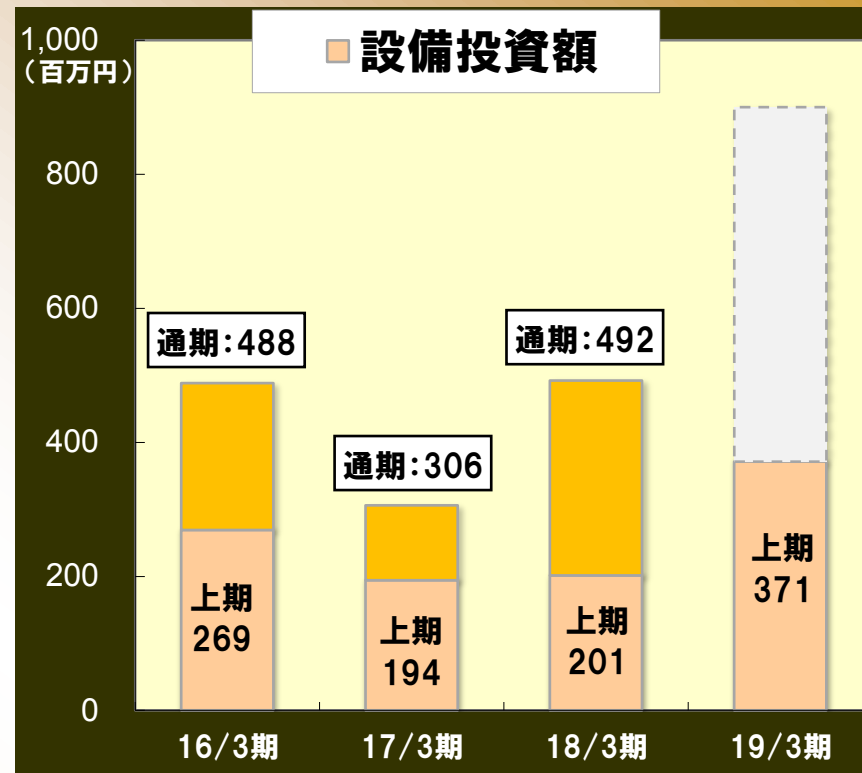
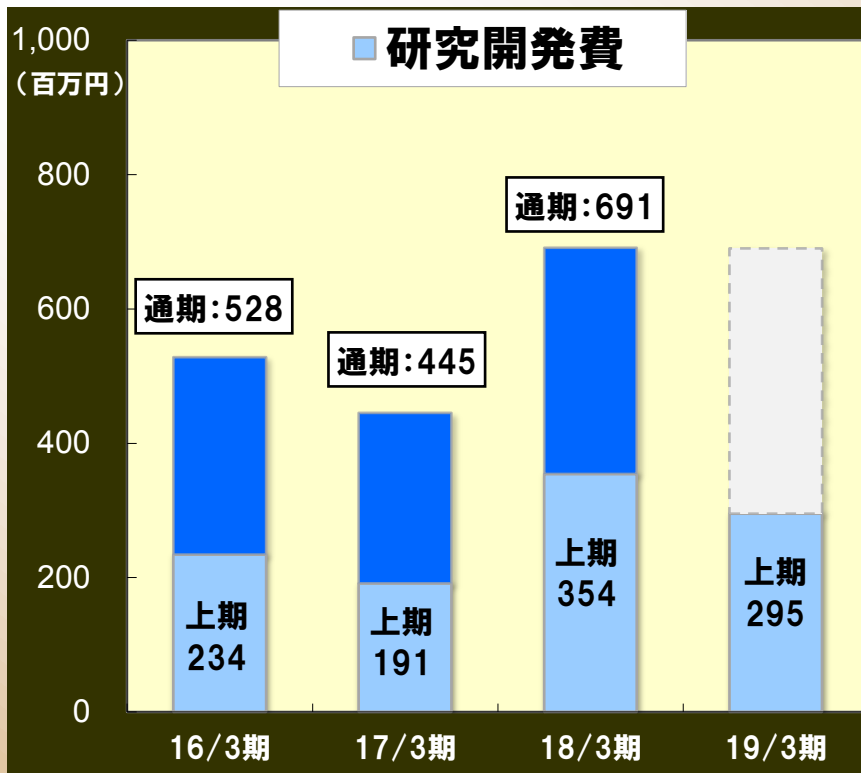


上期 連結損益計算書

【連結P/L】	2018年3月期:上期		2019年3月期:上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	6,471	100.0	7,689	100.0	+1,217	
売上原価	5,418	83.7	6,372	82.9	+954	
売上総利益	1,053	16.3	1,316	17.1	+263	
販売管理費	1,929	29.8	1,771	23.0	▲158	試験研究費:▲66百万円、 製品保証引当金繰入額:▲62百万円、 事務用経費:▲16百万円
営業利益	▲876	▲13.5	▲455	▲5.9	+421	
営業外収益	21	0.3	48	0.6	+26	為替差益: +13百万円
営業外費用	15	0.2	16	0.2	+0	
経常利益	▲870	▲13.5	▲422	▲5.5	+447	
特別利益	0	0.0	14	0.2	+14	受取和解金: +14百万円
特別損失	8	0.1	39	0.5	+30	災害(台風)による損失: +39百万円 固定資産減損損失: ▲8百万円
税金等調整前純利益	▲879	▲13.6	▲447	▲5.8	+431	
法人税等合計	▲199	▲3.0	▲28	▲0.4	+171	
上期純利益	▲679	▲10.5	▲419	▲5.5	+260	

上期 連結貸借対照表

【連結B/S】	2018年3月期 期 末		2019年3月期 上 期 末			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	9,515	76.3	9,928	75.2	+412	受取手形及び売掛金:▲897百万円 商品及び製品 :+930百万円、 仕掛品 :+274百万円
固定資産	2,950	23.7	3,275	24.8	+325	有形固定資産 :+161百万円、 無形固定資産 :+ 8百万円、 投資その他の資産:+156百万円
資産合計	12,465	100.0	13,203	100.0	+737	
流動負債	8,326	66.8	9,276	70.3	+950	受注損失引当金 :+315百万円、 短期借入金 :+306百万円、 1年内返済予定長期借入金:+161百万円
固定負債	1,153	9.3	1,334	10.1	+181	リース債務 :+145百万円
負債合計	9,479	76.0	10,611	80.4	+1,131	
純資産合計	2,985	24.0	2,592	19.6	▲393	利益剰余金 :▲511百万円
負債・純資産合計	12,465	100.0	13,203	100.0	+737	



● **研究開発費：通期ベース：ほぼ前期並みの見込み。**

⇒ ICカード中継機、バス運行管理ユニット「LIVU」、海外向けICカード読み取り機等に充当予定。

● **設備投資額：通期ベース：前期比増加の見込み。**

⇒ 自動車向けプリント基板実装ラインの拡充、社内ITインフラ(生産・販売管理システム等)の更新を予定。

■ 1. 2019年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P3~P14

▶ 2. 2019年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P18



■ 3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況:P19~P27

■ 【ご参考資料】:P28~P36

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移

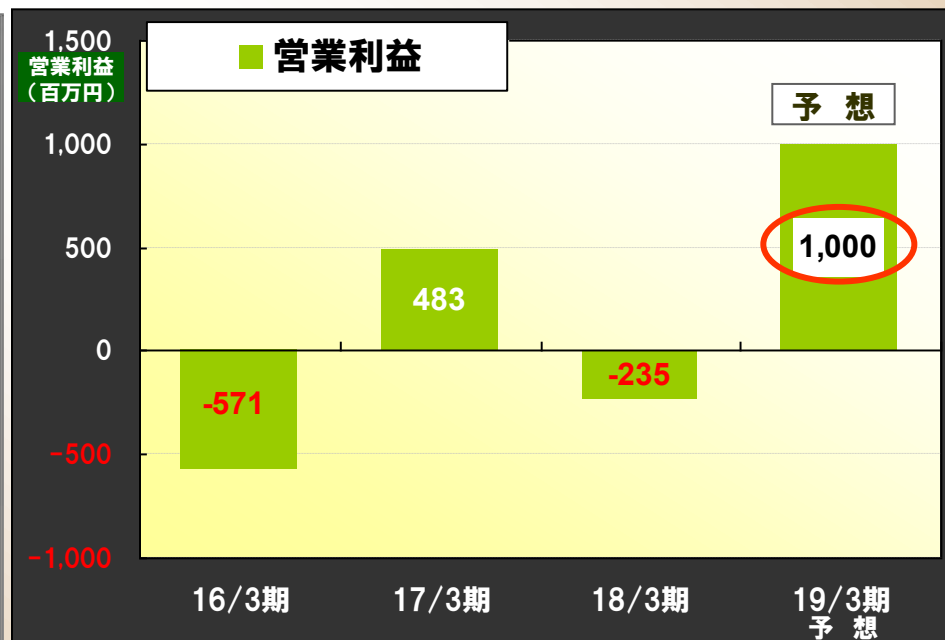
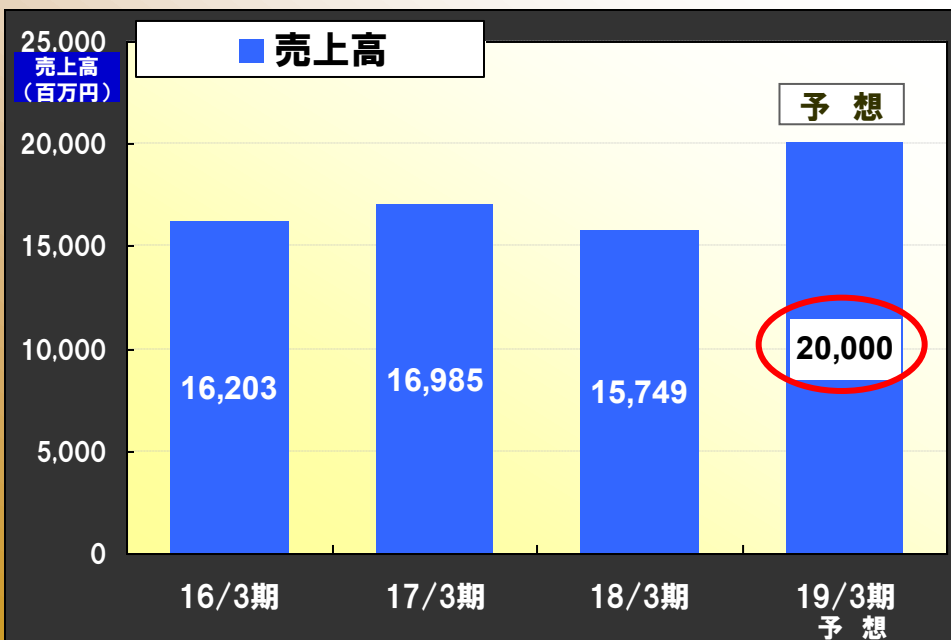
通期業績予想のポイント

- ▶ 通期予想は、当初予想から変更なく、据置き。
- ▶ 前期比 大幅な増収増益となる見通し。

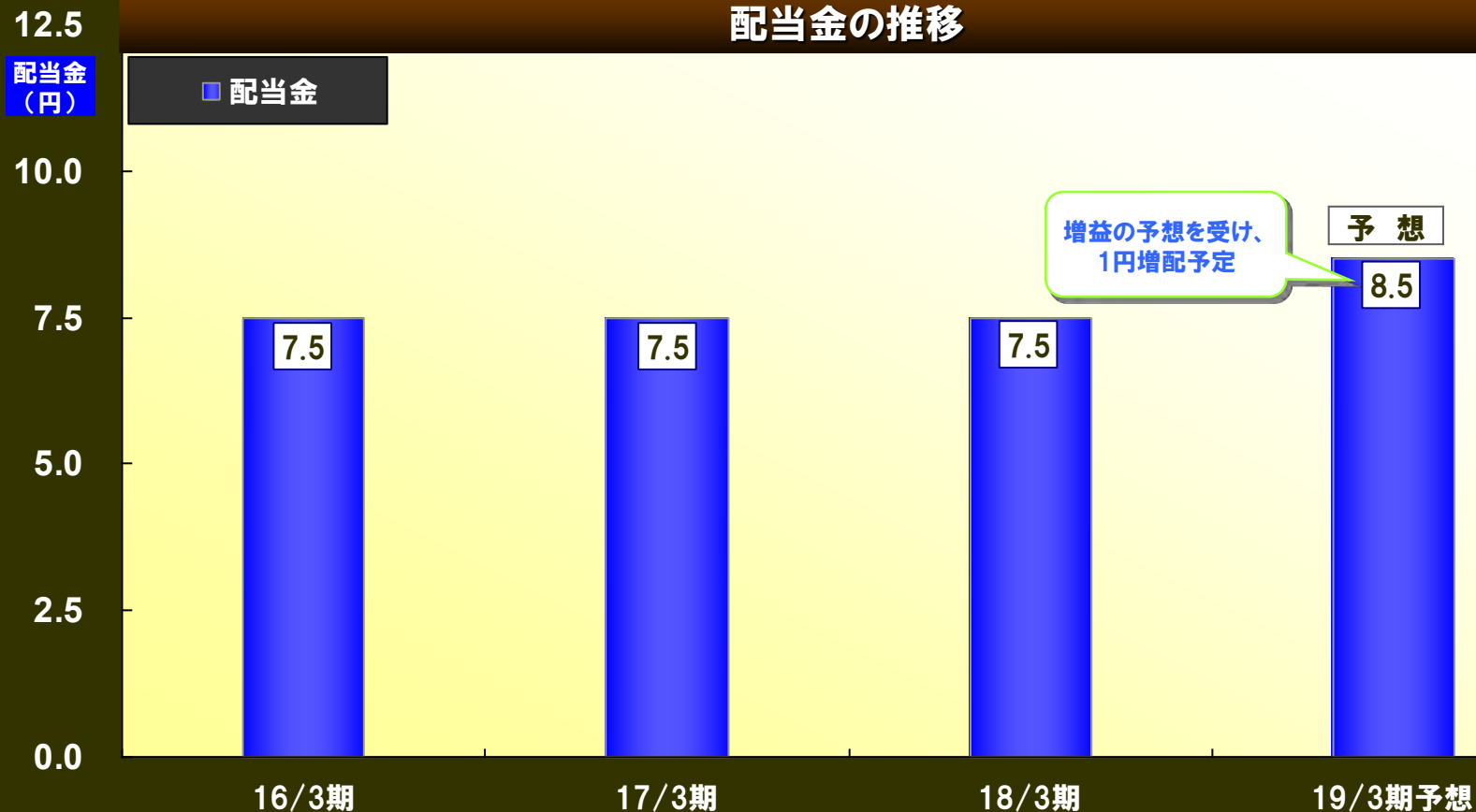
セグメント	前期比 増収増益予想:内容
輸送機器	 <ul style="list-style-type: none">○ 下期以降も、引き続き、首都圏バス用ICカードシステムの更新に係る大幅な売上の拡大を見込む。
産業機器	 <ul style="list-style-type: none">○ 連結子会社レシップ電子で、自動車向けプリント基板実装の受託が好調に推移する見通し。

2019年3月期：通期業績予想

連結業績予想	2018年3月期 実績 (百万円)	構成比 (%)	2019年3月期 業績予想 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	15,749	100.0%	20,000	100.0%	+4,250	+27.0%
営業利益	▲235	▲1.5%	1,000	5.0%	+1,235	—
経常利益	▲248	▲1.6%	1,000	5.0%	+1,248	—
当期純利益	▲454	▲2.9%	460	2.3%	+914	—
E P S (円)	▲40円91銭	—	41円38銭	—	+82円29銭	—



配当金の推移



- 今期 2019年3月期の配当予想: 1円増配の **8円50銭**
- 継続的かつ安定的な利益還元に努める

- 1. 2019年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P3~P14
- 2. 2019年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P15~P18
- ▶ **3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況:P19~P27**

- **【ご参考資料】:P28~P36**
 - 会社概要・事業内容
 - 主な経営指標の推移
 - 年間業績の推移
 - 上期・下期別の業績推移

【中期経営計画：CA2020】

期間

2016年4月～2021年3月までの5年間

タイトル

「Challenge Again 2020（CA2020）」
～安定的な売上200億円に向けて、チャレンジ・アゲイン～

重点課題

1. 「MaaSの実現に向けた新しい価値の創造」
2. 「育成分野への経営資源のスムーズな移行」
3. 「海外ビジネスの黒字化」
4. 「業務プロセス改善による生産性の向上」



「MaaS」の実現に向けて

MaaSの概念 Mobility-as-a-Service

A地点からB地点に市民が移動する際に、鉄道・バス・タクシー・カーシェア・バイクシェア・徒歩等の様々な移動手段の中で最適な手段を最適な価格で系統的に提供できるプラットフォームを、社会が市民に提供するという概念。

当社グループとしては、全体のシステムの最適化に向け、下記の分野において貢献を果たす。

◆ Ticketing & Fare Collection

発券及び運賃収受

◆ Planning, Reporting & Analyzing

計画、報告、分析

◆ Operation Support & Real-Time Passenger Information

運行支援及びリアルタイム乗客情報サービス

◆ Fleet Management

車両管理

運行支援ユニット「LIVU」の販売開始



LECIP

路線バス 運行支援システム

【車外構成図(一例)】

センターシステム
GPS

後方支援

アプリ-1
自動歩進

大型案内表示

アプリ-2
案内放送

「お乗車ありがとうございました」

アプリ-3
バスロケーション

送り返ボタンを押さなくても表示や放送が自動で切り替って便利!

ひとつのユニットにアプリを入れることで音声放送やバスロケーション等の機能が実現できます。

【車内構成図(一例)】

LIVU

GPS アンテナ
通信アンテナ
OBC VISION
系統設定器
マイク一体型スピーカー

- 路線バスの運行を支援するユニット「LIVU:(LECIP Intelligent Vehicle Unit)」販売開始。
- 「LIVU」に、アプリケーションを載せることによって、運行を支援する様々な機能の提供が可能。

【主なアプリケーション】

- ・自動歩進機能・自動放送(案内)機能
- ・経路逸脱の防止機能・バスロケーションシステム など

- 将来的には、バス車載機器の自動化における中心的な役割を果たす製品として、路線バスへの標準搭載を目指す。

海外ビジネス展開

● 米国市場



米国向けAFC
(自動運賃收受システム)



米国向け鉄道車両用灯具

● バス用AFC(自動運賃收受)システム

- ▶ ポテンシャルは日本の2倍以上（日本の58,000台に対して米国140,000台）
- ▶ 2016年7月：ワシントン州クラーク郡交通局様、2018年3月：オレゴン州ローグバレイ交通局様に納入。
- ▶ バス事業者様の幅広いニーズに対応可能な、新型運賃箱を開発。更なる受注拡大に繋げていく。

● 鉄道車両用灯具の受注活動を推進

- ▶ 日系車両メーカー及び現地の交通事業者との連携を強化。
- ▶ NYの通勤車両向け照明灯具を受注。2017年8月より現地生産を開始。現在納入中。
- ▶ 新たに、NYの地下鉄車両向け照明灯具を受注。2019年度より納入予定。

海外ビジネス展開

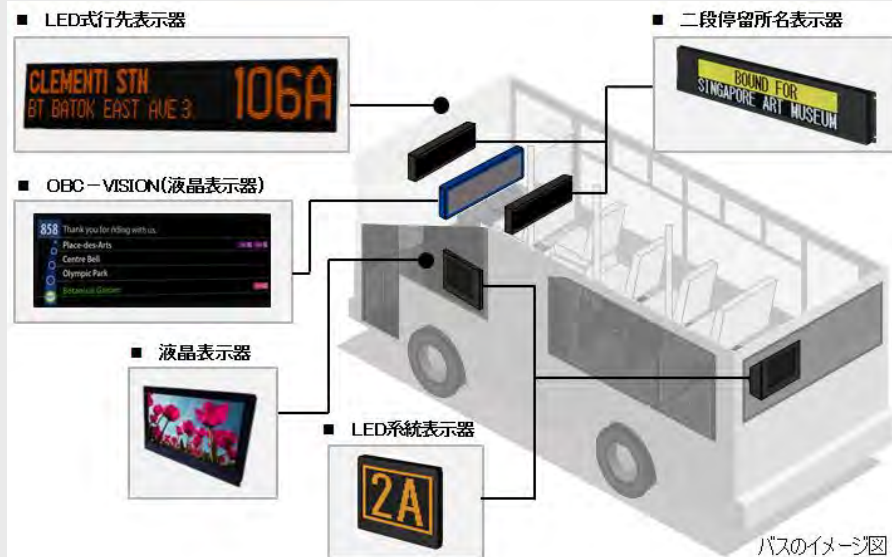
● 海外市場向け新型バリデータ(非接触ICカード端末)の開発



- スウェーデンの開発子会社 LECIP ARCONTIAにて、海外市場向け新型バリデータ(非接触ICカード端末)の開発を進める。
 - ▶ 間もなく開発が完了予定
 - ▶ 今後トレンドとなるキャッシュレス決済に対応する機能を一体化(バーコード、QRコード、非接触ICカード、EMVコンタクトレス、NFC等)
- 欧州でシステムインテグレーター向けに販売するのと並行して、セントラルシステムのパートナーを見つけ、非接触ICカードのシステム全体を完成する。

海外ビジネス展開

● シンガポール市場



● 公共交通の先進国シンガポール市場での販売強化。

▶ 当社は、長年、バス用機器の納入を行っており、バス用運賃箱と発券機は、現地で100%のシェアを獲得

● シンガポール政府主導により、バス利用客へのインフォメーションサービスを拡充する施策が進行中。

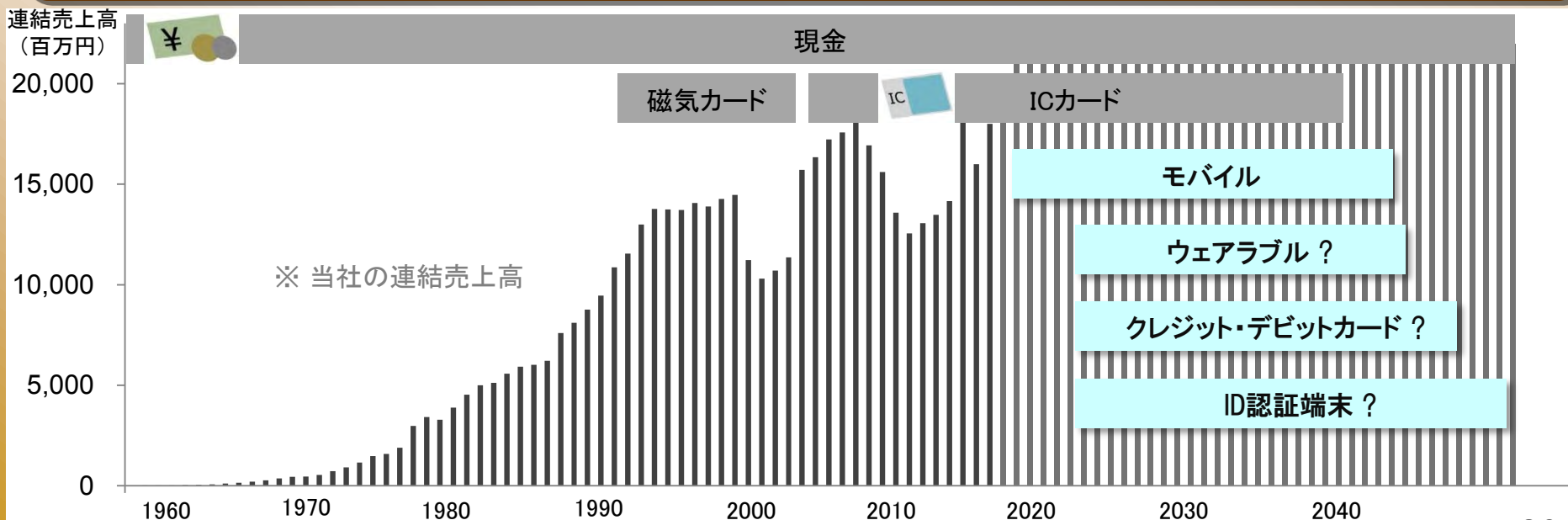
▶ 当社も、LED式行先表示器や液晶表示器などの表示システムの納入を開始
▶ ポテンシャルとしては、シンガポールのバス6,000台が対象

車上での決済手段の潮流

● キャッシュレス社会・自動運転(無人運転)化に向けた、新たな決済手段の登場。

- ▶ 海外では、非接触クレジットカード対応や、QRコードを使ったモバイル決済による決済が増加。
- ▶ 日本国内においても、経済産業省が、キャッシュレス決済の比率を2025年までに4割へ高める目標を掲げる。
- ▶ 当社も、今後の方向性を見極めるべく、産官学連携の「キャッシュレス推進協議会」に加入。

～1960年代	1970～202X年		202X年～
車掌による現金收受	ワンマン機器の導入	デジタル化(自動計算)	自動收受
ツーマン運転の時代	ワンマン運転の時代		自動運転(無人運転)の時代



当社の目指す事業構成

当面の課題：TMSをAFCと並ぶ第2の柱にする



TMS 運行管理システム Transit Management System

- ① リアルタイム通信技術を活用した新サービス
- ② 自社取得データとオープンデータとの連携による分析
- ③ IoTの促進、PTPS（公共車両優先システム）との連携

AFC 自動運賃収受システム Automated Fare Collection System

- ① ノン・キャッシュビジネスの拡大
- ② 後方系システムの機能拡張

LIGHTING&DISPLAY 車載用照明・表示機器

- ① エクステリアライトの新商材投入
- ② 調光、調色機能などの機能追加
- ③ リアルタイム通信機器との連動

1. 2019年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況:P3~P14

2. 2019年3月期 通期業績の見通し・配当の状況:P15~P18

3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況:P19~P27

▶ **【ご参考資料】:P28~P36**

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移

会社名	レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	1953年3月
代表者	代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	岐阜県本巣市上保1260番地の2
資本金	7億3,564万円
発行済株式総数	12,798,200株
上場証券取引所	東証一部、名証一部(証券コード:7213)
連結対象会社	9社(国内5社、海外4社)
連結従業員数 (2018年9月末現在)	588名(国内:553名、海外35名)

グループ体制

レシップホールディングス株式会社
LECIP HOLDINGS CORPORATION

レシップ株式会社
LECIP CORPORATION

レシップエスエルピー株式会社
LECIP SLP CORPORATION

レシップ電子株式会社
LECIP ELECTRONICS CORPORATION

レシップエンジニアリング株式会社
LECIP ENGINEERING CORPORATION

LECIP INC.

LECIP (SINGAPORE) PTE LTD

LECIP THAI CO., LTD.

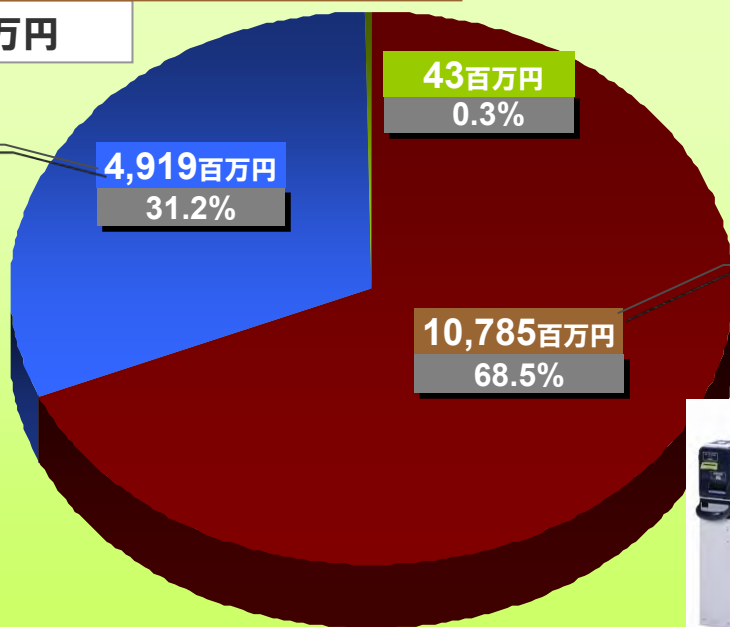
LECIP ARCONTIA AB

輸送機器事業

産業機器事業

【ご参考】2018年3月期 通期の事業セグメント別売上高

18/3期 連結売上高:15,749百万円



【産業機器事業】
充電器、無停電電源装置、
LED電源、
プリント基板実装



■ 輸送機器
■ 産業機器
■ その他

【輸送機器事業】
バス・鉄道用運賃箱、
ICカードシステム、
OBC(液晶表示器)、
LED式行先表示機器、
車載用照明機器



輸送機器事業

● バス市場向け製品



バス用機器搭載イメージ図

- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

● 鉄道市場向け製品



ワンマン鉄道用運賃箱

車内設置型ICカードシステム

車両用照明灯具

- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

● 自動車市場向け製品



自動車用照明灯具(車内・荷室内照明用)

LED灯具

- 自動車用蛍光灯のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

産業機器事業



フォークリフト用充電器



無停電電源装置・屋外用電源装置



LED電源と蛍光灯型LED灯具



プリント基板実装ライン

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- CATV基地局向け無停電電源装置などの、各種電源装置を展開
- LED電源、蛍光灯型LED灯具の拡販推進
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開。自動車向けの受託が拡大

【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477
営業利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526
経常利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	292
当期純利益率 (%)	(▲0.6)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755
自己資本比率 (%)	(18.4)	(23.9)	(37.1)	(38.2)	(43.5)	(51.2)	(50.3)	(54.4)	(51.3)	(48.6)
EPS(円)	▲9.02	53.85	48.14	52.34	53.69	40.80	3.27	3.67	10.40	23.43
ROE (%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8
BPS(円)	169.18	220.83	299.82	344.91	390.83	417.74	413.82	412.80	415.38	438.69

※2014年4月を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
株式分割前のEPS、BPSにつきましても、株式分割後の株数の基準でもって、算定し直し、現在と同じ基準で表示を行っております。

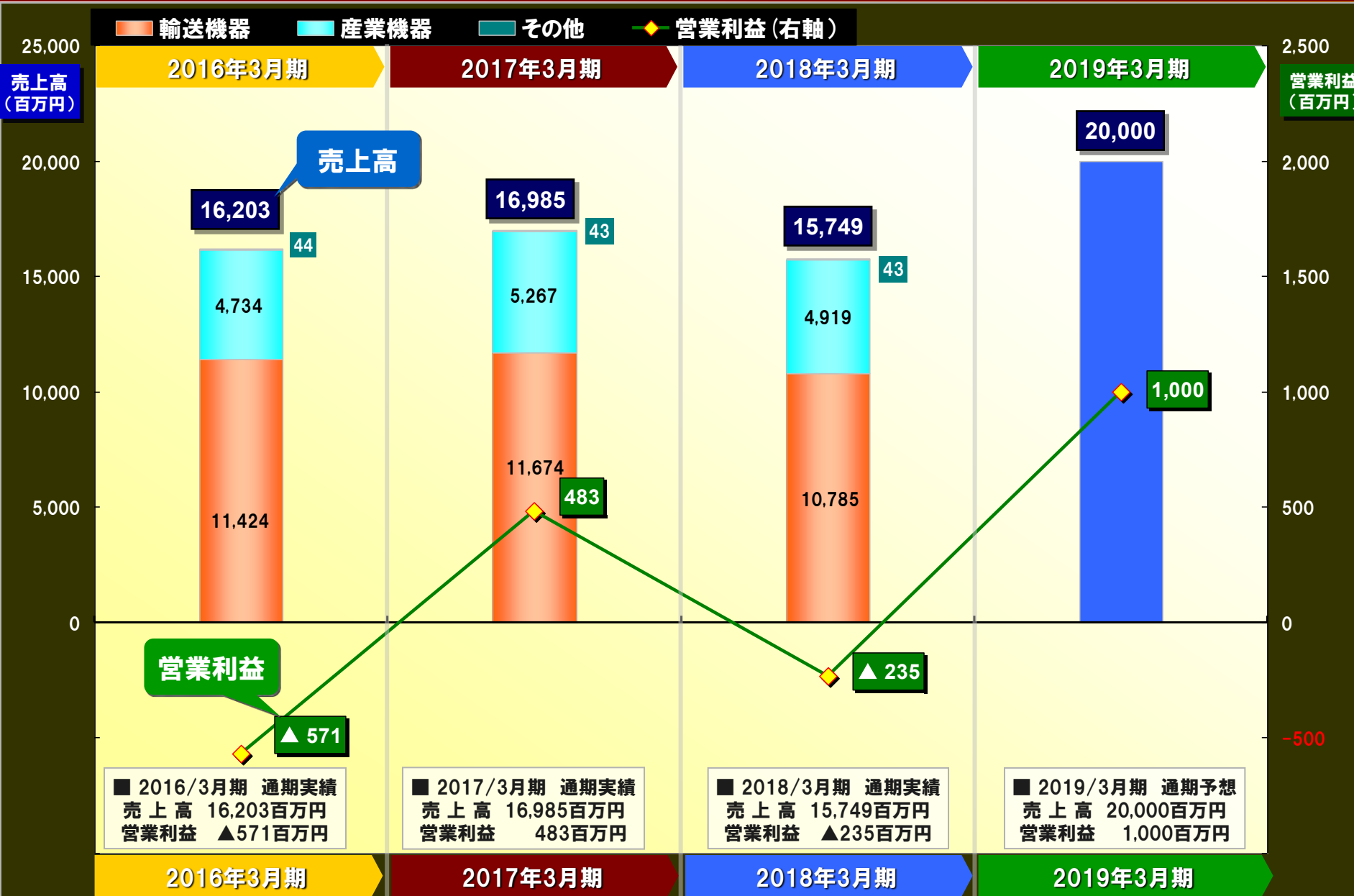
2014/3期以降の
続きは、次ページへ

【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

主な経営成績 指標の推移	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期 予想
売上高	14,157	20,215	16,203	16,985	15,749	20,000
営業利益	151	603	▲571	483	▲235	1,000
営業利益率(%)	(1.1)	(3.0)	(▲3.5)	(2.8)	(▲1.5)	(5.0)
経常利益	164	779	▲649	354	▲248	1,000
経常利益率(%)	(1.2)	(3.9)	(▲4.0)	(2.1)	(▲1.6)	(5.0)
当期純利益	▲98	227	▲1,378	50	▲454	460
当期純利益率(%)	(▲0.7)	(1.1)	(▲8.5)	(0.3)	(▲2.9)	(2.3)
総資産	12,677	14,431	13,173	13,048	12,502	—
純資産	4,614	4,637	3,277	3,499	2,985	—
自己資本比率(%)	(36.4)	(32.1)	(24.9)	(26.8)	(23.9)	—
EPS(円)	▲9.05	20.76	▲125.25	4.59	▲40.91	41.38
ROE(%)	▲2.1	4.9	▲34.8	1.5	▲14.0	—
BPS(円)	422.21	422.30	297.03	315.51	267.56	—

【ご参考】:年間業績の推移



【ご参考】: 上期・下期別の業績推移



LECIP

GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】

管理本部 経営管理部

電話番号：(058)323-7647

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。